

## 平標山・東谷山スキー報告

【山城】谷川連峰：平標山・東谷山

【日程と天気】2018年2月24日：晴れのち雪（二居で最高1℃）、25日：晴れ（二居でスタート時—6℃）

【メンバー】CL 菊池・渡辺（俊）；24日のみ・住田・会員外2名・チーム福島7名

【行程】24日：湯沢除雪ステーション・道路情報ターミナル「みちしるべ湯沢」8:00 集合—火打峠トンネル前の除雪スペース駐車—ヤカイ沢——北西ブナ林斜面—稜線（1600m）—1750m—往路を滑走—二居（泊）

25日：宿—地王堂川沿い林道—東谷山南面作業道—南尾根—山頂—北西斜面滑走—貝掛け温泉入口



- ・上信越のパウダーツアーシーズンも終盤戦になってきました。24日～25日はチーム福島7名との合同で平標山・東谷山に行ってきました。関越トンネルに近づくと真白い谷川岳が目の前に現れ、テンションがあがります。湯沢ICを出て国道17号線を進むと、混み合うセブンイレブンの



少し先に、湯沢除雪ステーション・道路情報ターミナル「みちしるべ湯沢」が左側にあります。綺麗なトイレを完備した広い駐車スペースに 12 名が集合しました。福島・栃木・茨城・新潟、そして千葉から集結しました。

- ・ 24 日は気温がやや高く平標を選択、火打峠トンネル前の除雪スペースは多くの先行車、何とか詰め込んで我々の 6 台駐車し、ヤカイ沢に向かってスタートしました。午前中は予想以上の好天、真白い平標の山頂が見えてくるとテンションがグーンと上がります。



12 名中山スキーでの平標経験者は 4 名のみ、豪快な景色を前にまず記念撮影です。固い下地の上に新雪が 20 cm 前後、日当たりが良いため、サンクラストしているため、滑走は難しいようだ。ハイクアップはこの素晴らしい景色を見ながら気分良好。隊列組んで徐々に斜度が増すオープン斜面をハイクアップします。



オープン斜面は先行者のトレースを辿り進んできましたが、右の尾根に乗り上げるため急なブナ林に入っていきます。出来るだけ登りやすい斜度が比較的緩いラインをラッセルしながら進みます。やはり北西向き林間のため、素晴らしいパウダーが温存されています。40 cm 前後の新深雪、軽い雪質





でラッセルは苦になりません。滑走が楽しみです  
すね！！1600mの稜線付近はさすがに風の  
影響でシュカブラや雪面が固く、シール登行も  
やや難儀します。稜線をハイクアップする頃  
には明らかに天気は悪化、風も強くなっており  
1740m地点から滑走することとした。



- ・始めはオープン斜面、ウインドバック気味の南  
西ルート、慎重に高度を下げたが、間もなくダケカンバからブナ林に変わる素晴らしい  
北西斜面、中級斜面が標高差 150m、良質のディープパウダー、雄叫びとともに浮遊感た  
っぷりのリズムに乗ったハイスピードテレターンに酔いしれた。オープン斜面に降り立  
つ前が最も快適なパウダーツリーランです。降雪模様の中、各人思い思いのパフォーマ  
ンスです。



満足の一日目のメインディッシュを頂いて  
大満足です。後半の滑走はサンクラストの影響  
が少し残って板を回しにくいエリアもあ  
ったが、降雪模様の効果も手伝ってまあま  
あの滑りができた。



- ・宿泊は二居の民宿「なかじま屋」、夕食前の  
宴会でビール、日本酒 2 升で自己紹介、山ス  
キー談義、新潟・福島郷土愛に溢れたロー  
カルなお話しに盛り上がり、美味しい夕食を  
頂きながら、更にビールで乾杯、赤ワイン 2

本と、皆さんへベレケ状態になっていたようです。素晴らしいであろう明日の東谷山パウダーランを夢見ながら深い眠りにつきました。

- 昨日は二居で 1℃位まで気温が上昇したが、2 日目の朝は-7℃位まで冷え込み、サラサラの新雪が 15 cm ほど積もっており、晴れベースで風も弱く、絶好のツアー日和となった。いつも我々が使用する登りルートは地王堂川の林道を進み、日白山への分岐付近から北の林間に入り、開けた台地を経由して作業道【?】に進む。東谷山の南側の急斜面にジグザグに作業道が付けられており、概ね登りやすい。



木が倒れて進みにくい箇所 2~3 ヶ所、吹き溜まりの通過で難儀する箇所も数か所みられたが、順調に高度が稼げる。登りの最後は、やや急なブナ林の素晴らしい尾根に乗り上げ標高差 150m ほど頑張ると斜度が緩み、更に標高差 50m 程で山頂に達する。急斜面のシール登高やキックタンの苦手な女性などは苦勞する。ブナの芸術に癒され、ゆっくり山頂を目指しました。





- ・高齢者集団のため、登頂にかなりの時間を要した。既に多くのシュプールが北西斜面に向かっていた。日白山、谷川の山々は山頂付近に少し雲がかかって煙っていた。滑走準備をしている頃、到着した同年代の3人組と談笑。言葉から「新潟ですね」と聞くと、案の定、燕、長岡在住の新潟の方々であった。記念撮影をしていた。



東谷山山頂

- ・さあ、お楽しみのブナ林パウダーツリーランです。チーム福島の7名を含め11名中9名が東谷山初挑戦です。雪質は素晴らしい。30度前後の急斜面、雪花の素晴らしいブナ林に浮遊感たっぷりのデープパウダーラン、雄叫びとため息が交錯した。先行シュプールがかなりあるが、広大なすり鉢状の



ブナ林大斜面、ノートラックを狙って皆さん思い思いのパフォーマンスを繰り広げた。雪煙を上げる goro さんのショット（動画？）を狙う K さん。皆さんを好条件の東谷山に案内出来てよかったなあと感じた瞬間でした。下部はやや複雑な地形で谷底に吸い込まれて行く感じである。徐々に雪質が悪くなるが慎重に滑走し、無事にフィナーレを迎えた。



- ・ 貝掛温泉入口の除雪スペースに車をデポ、そこまで滑ってきてフィナーレです。一人一人と握手を交わし記念撮影しました。



テレマーク歴 20 年ほど、パウダー中毒にはまって既に 15 年ほどであろうか、あまりにものめり込むのもどうかと慎重に考えていますが、やはりブナ林パウダーランは最高ですね。そして上信越のエリアはその最適地でしょう。鍋倉山と今回の東谷山はその双壁と思っています。満面の笑みが見られ、仲間に喜んで頂けるのは C L 冥利に尽きますね！！